

令和7(2025)年度 厚生労働省委託事業「要約筆記者指導者養成研修」 募集要項

1. 目的

厚生労働省の要約筆記者養成カリキュラムに準拠した要約筆記者指導者養成プログラムに基づき、要約筆記者の養成研修に携わる講師となる指導者を養成する。

2. 主催

社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター

3. 協力

- ・一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（「全難聴」）
- ・特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会（「全要研」）

4. 日程等

(1) 基礎研修コース[定員 80 名/手書きクラス 40 名、パソコンクラス 40 名]

日程等 クール	日 程	開催形式
第1クール	令和 7年 7月12日(土) ~ 7月13日(日)	オンライン(Zoom)
第2クール	令和 7年 8月30日(土) ~ 8月31日(日)※	対面 ① / 戸山サンライズ
第3クール	令和 7年10月25日(土) ~ 10月26日(日)	オンライン(Zoom)
第4クール	令和 7年12月13日(土) ~ 12月14日(日)	対面 ① / 戸山サンライズ

※ 第2クールは、天候不良により、日時変更の可能性があります（候補日：9月20日(土)、21日(日)）。

(2) 難聴者コース[定員 20 名]

日程等 クール	日 程	開催形式
第1クール	令和 7年 6月21日(土) ~ 6月22日(日)	対面 ② / 情文センター
第2クール	令和 7年 8月 2日(土) ~ 8月 3日(日)	オンライン(Zoom)
第3クール	令和 7年11月 8日(土) ~ 11月 9日(日)	対面 ① / 戸山サンライズ

(3) ステップアップコース【要約筆記者】[定員 50 名/手書き 25 名、パソコン 25 名]

日程等 項目	日 程	開催形式
1日目	令和 7年10月 4日(土)	オンライン(Zoom)
2日目	令和 7年11月15日(土)	オンライン(Zoom)
3日目	令和 7年12月20日(土)	オンライン(Zoom)

(4) ステップアップコース【難聴講師】[定員 12 名]

日 程	開催形式
令和 7年10月11日(土) ~ 10月13日(月・祝)	対面 ② / 情文センター

【対面研修会場 ①】 全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）

住所：〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
電話：03-3204-3611 / Fax：03-3232-3621
<https://www100006-hp.normanet.ne.jp/>

【対面研修会場 ②】 社会福祉法人聴力障害者情報文化センター（情文センター）

住所：〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3
電話：03-6833-5003 / Fax：03-6833-5000
<https://www.jyoubun-center.or.jp/>

5. 受講対象者及び募集定員

コース（定員）	受講条件（下記の条件すべてを満たす者 / ネット環境の整備は受講者が行うこととする。）
基礎研修コース （定員）80名 [内訳] 手書きクラス：40名 PCクラス：40名	(1) 都道府県等において、要約筆記者養成の指導者を目指す者で、都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課(室)が受講を認めた聴者。 (2) オンライン研修（Zoom）を含め、本研修コースの全日程・全科目に出席可能な者。
難聴者コース （定員）20名	(1) 都道府県等において、要約筆記者養成の難聴当事者講師を目指す者で、都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課(室)が受講を認めた者。 (2) オンライン研修（Zoom）を含め、本研修コースの全日程・全科目に出席可能な者。 ≪申込時の提出書類≫ 「要約筆記者養成テキスト上」の14～15頁を読み、「障害者総合支援法における聴覚障害者への支援と課題」をまとめる(800字) ≪受講決定後≫ 第1クールには岩波新書「音から隔てられて」を必ず熟読し参加する。できれば持参する。 持っていない人は、近隣の図書館や情報提供施設から借りるか、国立国会図書館デジタルコレクションにアクセスして読む。
ステップアップコース 【要約筆記者】 （定員）50名 [内訳] 手書きクラス：25名 PCクラス：25名	(1) 本研修（東日本会場・西日本会場または基礎研修コース）を修了した登録要約筆記者で、都道府県等において現に要約筆記者養成講座の指導にあたっている者であり、都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課(室)が受講を認めた者。 (2) オンライン研修（Zoom）を含め、本研修コースの全日程・全科目に出席可能な者。 ≪申込時の提出書類≫ 地域の「養成カリキュラム」（直近年度のもの） ≪受講決定後の提出書類≫ 「指定課題のレポート」
ステップアップコース 【難聴講師】 （定員）12名	(1) 本研修（東日本会場・西日本会場、基礎研修コース、難聴者コース）を修了した難聴者で、都道府県等において現に要約筆記者養成講座の指導にあたっている者であり、都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課(室)が受講を認めた者。 (2) 本研修コースの全日程・全科目に出席可能な者。 ≪申込時の提出書類≫ 「要約筆記者養成講座における難聴者講師として感じる課題、参加を希望する理由」をまとめる(800字) ≪受講決定後の提出書類≫ 「要約筆記者養成講座における難聴者講師の役割と課題～講義の中で要約筆記利用をどう入れ込むか～」をまとめる(1200字)

6. 申込方法

- 本研修の受講希望者は、所定の用紙（受講者推薦書）に必要事項を記入し、居住地または主たる活動地の都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課（室）へ申し込む。
- 都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課（室）は、本研修の受講者としてふさわしいと認められる者について、受講者推薦書を主催者に提出する。

7. 受講者推薦書提出期間

令和7年4月1日(火)～令和7年5月15日(木)

×切日厳守(当日消印有効) ※郵送・メール・FAX 受付可

8. 受講者推薦書 / 書類等の提出先

社会福祉法人聴力障害者情報文化センター 要約筆記者指導者養成研修 事務局

Email : youhitsu@jyoubun-center.or.jp

※件名に「【推薦】令和7(2025)年度 厚生労働省委託事業「要約筆記者指導者養成研修」
とつけてお送りください。

郵送：〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3

Fax：03-6833-5000

9. 受講決定

主催者は、都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課(室)から推薦のあった者を本研修の受講者として決定し、令和7年5月26日(月)に、各障害保健福祉主管課(室)を通じて、本人に通知する。

10. 受講料

無料とする。ただし教材については、受講決定後、実費(4,400円)を徴収する。

11. 受講コース・クラス等の決定

基礎研修コースの第4クール初日については、受講者が選択する科目の研修を行う。ただし、指導可能な人数に満たない科目は開講せず、主催者が指定する科目を受講することとする。

12. 修了決定等

- (1) 本研修において、全日程・全科目に出席した者に修了証を交付する。
- (2) 主催者は、本研修の修了証を交付した者の名簿を作成し、必要に応じ都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主管課(室)に対し開示することができる。

13. その他

- (1) 本研修で取得した個人情報、研修運営に関する業務(連絡、資料送付、名簿作成等)以外には使用いたしません。
- (2) 厚生労働省カリキュラム準拠『要約筆記者養成テキスト』第2版上下巻を、全コース必携とする。
- (3) 『指導案集 厚生労働省カリキュラム準拠 要約筆記者養成テキスト第2版上下巻対応』(特非 全国要約筆記問題研究会発行)を、「基礎研修コース」及び「ステップアップコース【要約筆記者】」の必携とする。

14. 問合せ先

社会福祉法人聴力障害者情報文化センター 要約筆記者指導者養成研修 事務局

〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3

Tel. 03-6833-5003 Fax. 03-6833-5000

Email : youhitsu@jyoubun-center.or.jp

参考

昨年度(R6/2024年度)「要約筆記者指導者養成研修」 受講者の声(「受講者アンケート」より)

【基礎研修コース】

Q 今回の研修についてどのような印象をお持ちですか？

- A-1 正直なところ、自分の経験の浅さや勉強不足への不安があり、指導者養成研修に参加していいのかどうか迷いながらの受講だった。研修を重ねながら、自分にはどこがどのくらい不足しているのか、どんな積み重ねが必要なのかが見えてきはじめ、漠然とした不安だけではなくなくなった。
- A-2 他地域のみなさんと共にひとつのものを作り上げていく経験は、なかなかできるものではありません。情報交換をしながらときにまとまらない意見をどうにかしながらの半年は、貴重な経験となりました。
- A-3 全国の要約筆記者と共に、指導者としての視点や想いを共有できたことは貴重な経験でした。また、講師の方々の丁寧なご指導は、今後の目標にしたいと思いました。ありがとうございました。

【難聴者コース】

Q 今回の研修についてどのような印象をお持ちですか？

- A-1 事前に資料が郵送され、予習ができたのでスムーズに講義に参加する事ができました。ZOOMでの参加は旅費や時間が節約でき、参加しやすかったです。
- A-2 モデル講義は充実していたが、講義の内容以前の資料の作り方や、講義での話し方など、具体的に教えていただけると良かった。例えば OHC で資料を映す際の使い方や、資料のサイズなど。
- A-3 第1～3 クールの限られた時間でのスケジュールで学ぶことがたくさんありましたので。課題を設けることで、自分の間違った情報を指摘、正して頂けたことは大きな収穫でした。

【ステップアップコース(要約筆記者)】

Q 今回の研修についてどのような印象をお持ちですか？

- A-1 自分にとって良いタイミングで受講できたこと。指導者をやってみて自信のない部分や、まだまだ足りない部分が認識でき、改善のヒントをたくさんいただいた。
- A-2 自分に足りないところがどこなのか、3日間受講してよくわかりました。今後どのような講義をしていけばいいかを学ぶことができました。ありがとうございました。
- A-3 指導者研修の基礎で学んだ上に積み上げる今回の内容は、勉強になりました。これまでの自分に不足していた部分を知りました。学んだ内容をいただいた資料とテキストで振り返り理解を深めていきます。

【ステップアップコース(難聴講師)】

Q 今回の研修についてどのような印象をお持ちですか？

- A-1 難聴者講師として、目的を持って参加。その目的に沿って、学ぶことができた上に、全国から集まった難聴者講師と交流する機会が持て、大きな収穫があり、有意義でした。
- A-2 専門家の話を聞く機会が持てたことが、とても良かったです。自身の講義にも生かせることがたくさんありました。他の難聴者講師が、どのように話をされるのかを目の当たりにして大きな刺激を受けました。
- A-3 第一線で活躍されている方や養成テキスト執筆者等による講義でしたので深掘りして学ぶことができただけでなく、直接聞く(講師に直接聞く、質問票等で)ことができてよかったです。とくに、第13、14講などは自身も担当させていただいており自分なりに伝わりやすい教材づくりに努めているところですが、解釈に間違っていないか直接確認できたことは自信になりました。